

想いを伝える（そのⅡ）卒業式に向けて

先だって山口県のまん延防止重点措置が解除され、昨日隣県の措置も解除となりました。しかし、現在も県内のコロナ感染者数は高止まりしている状況です。そのため、学校では、先月から実施している「レベル3相当の対応」を継続しています。

「レベル3相当の対応」では、感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い活動を行わないようにしています。

<具体的には>

- 室内で多くの人数が近距離で行う合唱、リコーダー・管楽器演奏を行わない。
- 長時間近距離で行うグループワークを行わない。
- 密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動を行わない。

etc

だからと言って活動ができない訳ではありません!!

制限がある中でも、簡単に諦めない…取りやめない…中止しない…のもと、感染リスクを正しく認識した上で、感染リスクを下げる工夫をしながら活動を展開します。特に卒業式に向けての練習では、場所、時間、方法を考えながら、レベル3相当に対応した練習をしています。卒業式当日、想いを伝える合唱や演奏を夢みながら……。

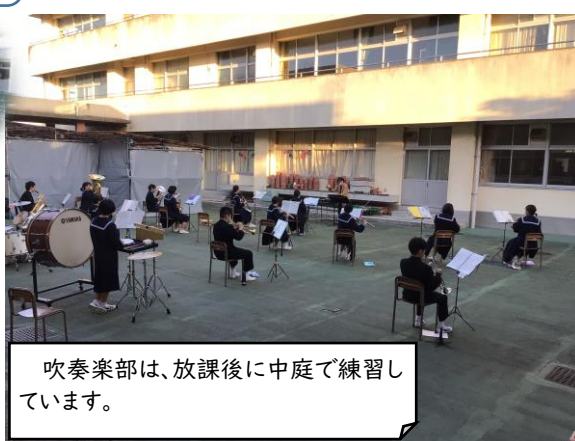
1,2年生は昼休みに、外で3パートに分かれて合同練習をしています。



3年生の有志は、朝早く登校し、中庭で練習をしています。



3年生は中庭で、間隔をあけて練習をしています。



吹奏楽部は、放課後に中庭で練習しています。

合唱練習では、リーダーが指示する声やそれに答える子どもたちの声が校内に響きわたっています。先生方も、一緒に歌ったり、リズムをとったり…(^^)/

制限がある中でも、卒業式に向けて、できること・できる方法を見い出しながら日々活動しています。それでもなお、卒業式当日、合唱や演奏ができないかもしれない……という不安は常に付きまといますが、今できることを一所懸命に取り組んでいます。浅江中の底力をあらためて感じる日々です。全校生徒、教職員とて、3月10日の3年生の門出を精一杯応援し、気持ちよく送り出したいと思います!!